

当面の日程

- 19日 戦争させない、9条壊すな！
11.19兵庫憲法集会（アステック神戸）
- 20日 確定闘争第2波統一行動日
- 12月4日 県本部人権研修会（ひょうご共済会館）
- 6日 県本部囲碁・将棋大会（ひょうご共済会館）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1685号

2025. 11. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／北池 宏光・編集人／秦 信昭

退職者会兵庫県本部第50回総会

半世紀の歩みを 力に新たな前進

全日本自治体退職者会兵庫県本部（兵退連）は10月23日、マールカスクエア神戸において第50回定期総会を開催した。

定期総会開会にあたり、大槻信夫会長は「兵退連は1975年8月に結成され今年で50周年記念の1年で、また同時に戦後・広島・長崎から80年、阪神淡路大震災から30年の節目の年でもある。そのため、兵退連は今年、50周年記念事業に

取り組み、いずれも成功させてきた。2月の『大震災30年』を振り返る企画、8月の姫路市での『被爆80年平和のつどい』、9月には尼崎市での介護保険の危機を学ぶ学習会へは、それぞれ、多くの会員や一般市民が参加し、成功裏に終わることができた。大変感謝している。その他の課題も多くあるが、現退一致して取り組んでいく」とあいさつした。



節目の総会で方針を確認

その後、来賓あいさつ、活動報告、会計報告、新年度方針案、予算案、新役員案が提案され、いずれも満場一致して確認された。

心配をよそに、大粒で豊作となった。参加者は黒豆畑のあぜ等にレジャーシートを広げ、収穫を楽しんだ。

また、朝に茹でた枝豆の試食や子ども福引きコーナー、新米や黒豆みそが当

「切りひらく力」を持ってほしい」とアドバイスを受けた。

通勤の駅で、阪急電鉄労働組合の掲示板に貼られたポスターの「人と地域をつなぐみんなの公共交通へ」という言葉が目にとまった。慌ただしい朝のホームで、その一文が妙に心に響いた。忙しいの中で、私たちはつい現実には流され、理想を語ることを忘れがちだ。しかし、こうして理想を掲げ続ける姿勢こそが、組合の存在意義ではないかと思う。もちろん、人は理想だけでは生きていけない。生活のために働き、さまざまな柵の中で日々をやりくりしている。現実を見つめるリアルリストであることは大切だが、理想がなければ生きる意味を見失ってしまう。労働組合の活動も、現実の課題と理想の間を行き来しながら進む。それでも「こうありたい」と願う理想を掲げるからこそ、一歩を踏み出す力が生まれる。理想は遠くても、その光が私たちを導く。朝のざわめくホームの片隅でしばし沈思した。



県本部は自治労共済支部と共催し、10月18日に第17回黒豆収穫祭を丹波篠山市内で開催した。

2007年から始まった人気の文化事業として昨年から、新たな生産者「耕しや」の全面協力のもと実施した。

黒豆収穫祭当日は、実行委員が朝に刈り取ったばかりの新鮮な黒枝豆を受け取り、参加者は枝から豆を取り外す「豆もぎ」や、1メートル以上もある枝切ハサミを使って、自ら刈り取ることでできる「枝豆収穫体験」など、13単組から組合員と、

働く女性の交流集会が10月12日、神戸市内で開催され、全体で33人、自治労からは18人が参加した。

集会では「ジェンダーや雇用形態による格差を変えていくために」をテーマに、聖心女子大学の大槻奈巳さ

んから、同一価値労働・同一賃金や職務評価、女性の職業的キャリア形成について講義を受けた。「同じ価値の仕事に対して、同じ賃金を払うという原則で賃金を算出し、格差を是正するためにカギとなるのが仕事の価値を測る職務評価。仕事の構成要素を設定したうえで点数化し、その総計得点で職務の大きさを評価する得点要素法は数値で表すことができるので分かりやすい」と学習を深めた。

講演後のグループワークでは世代や立場、職種を超えて、自分たちの働き方や処遇について討論し、参加者からは「職務評価の話が聞けて良かった。自分自身で仕事の評価をしつかりしないといけないことに気づ



交流集会の様子

同一価値労働・同一賃金の実現へ

働く女性の交流集会

その家族を含め165人が参加した。

今年は例年になく猛暑の影響が懸念されたが、その

また、朝に茹でた枝豆の試食や子ども福引きコーナー、新米や黒豆みそが当

たるお楽しみ抽選会も実施し、さわやかな秋空のもと、句を満喫した。

「切りひらく力」を持ってほしい」とアドバイスを受けた。

通勤の駅で、阪急電鉄労働組合の掲示板に貼られたポスターの「人と地域をつなぐみんなの公共交通へ」という言葉が目にとまった。慌ただしい朝のホームで、その一文が妙に心に響いた。忙しいの中で、私たちはつい現実には流され、理想を語ることを忘れがちだ。しかし、こうして理想を掲げ続ける姿勢こそが、組合の存在意義ではないかと思う。もちろん、人は理想だけでは生きていけない。生活のために働き、さまざまな柵の中で日々をやりくりしている。現実を見つめるリアルリストであることは大切だが、理想がなければ生きる意味を見失ってしまう。労働組合の活動も、現実の課題と理想の間を行き来しながら進む。それでも「こうありたい」と願う理想を掲げるからこそ、一歩を踏み出す力が生まれる。理想は遠くても、その光が私たちを導く。朝のざわめくホームの片隅でしばし沈思した。

県本部黒豆収穫祭

仲間とともに味わう秋の恵み

大粒の黒豆に歓声

県本部公式 LINE はじめます！

こんなコンテンツが利用できます！

- 読みごたえがあるコラムや、安心の自治労共済情報
- ホームページの組合員専用ページにワンタップでアクセス
- 日々の暮らしに役立つお店のお得情報
- うれしい各種キャンペーンのお知らせ

組合員だけの特典情報をお楽しみに

しこう

通勤の駅で、阪急電鉄労働組合の掲示板に貼られたポスターの「人と地域をつなぐみんなの公共交通へ」という言葉が目にとまった。慌ただしい朝のホームで、その一文が妙に心に響いた。忙しいの中で、私たちはつい現実には流され、理想を語ることを忘れがちだ。しかし、こうして理想を掲げ続ける姿勢こそが、組合の存在意義ではないかと思う。もちろん、人は理想だけでは生きていけない。生活のために働き、さまざまな柵の中で日々をやりくりしている。現実を見つめるリアルリストであることは大切だが、理想がなければ生きる意味を見失ってしまう。労働組合の活動も、現実の課題と理想の間を行き来しながら進む。それでも「こうありたい」と願う理想を掲げるからこそ、一歩を踏み出す力が生まれる。理想は遠くても、その光が私たちを導く。朝のざわめくホームの片隅でしばし沈思した。

いまいち座

なんか、アクつよい...



iNaki

町職連協定期総会

人勧以上の引き上げを

若手交流の広がりや組織化の取り組み報告も



歴史ある町職連協の歌を斉唱

町職連協は9月27日、播磨町中央公民館で第54回定期総会を開き、12単組33人が参加した。総会冒頭、恒例の兵庫県町職連の歌を全員で斉唱した後、議長に北村望代議員(播磨町職)を選出し、議事を進めた。主催者を代表して石田義浩議長(猪名川町職)は「昨年の確定闘争では地域手当が引き下げられた単組もあり、納得できる内容ではなかった。今年は全町職単組で人勧以上の引き上げをめざしたい」と述べた。また、「若手交流集会など楽しめる企画を行ってきた。新年度も繋がりをさらに広げて

いきたい」と抱負を語った。県本部からは足立育生副委員長(神河町職)が出席し、激励のあいさつを行った。経過報告は藤本朋也事務局長(稲美町職)、市町村共済組合報告は本田圭司特別幹事(神河町職)、市町職員互助会報告は北川寿一特別幹事(稲美町職)がそれぞれ行った。質疑では、多可町職の大西代議員が会計年度任用職員の組織化への取り組みを報告。「会計年度任用職員は増加しており、これらの職員なしには業務は成り立たない。アンケートや説明会などを通じて組合の意義を伝えること

ができた。関心を持つ職員もあり、今後も粘り強く取り組みたい」と述べた。方針提起では、国広大樹事務局長(佐用町職)が秋の確定交渉に向け、給料表や一時金、通勤手当の引き上げに取り組み、統一交渉に結集して各町の労働条件を底上げするよう呼びかけた。新年度役員体制も提案され、すべての議案が承認された。

総会終了後は、戎剛副委員長を講師に「町職役員が押さえておくべき人勧の課題とポイント」と題した学習会を開き、今年度の人事院勧告について理解を深めた。

10月25日、人権啓発研究第45回兵庫県集会在神戸市内で開催され、約300人参加。冒頭、主催者を代表して則定所長は「部落解放・人権研究所所長より『今年と同和対策審議会答申から60年、部落地名総鑑事件から50年という節目の年。本日の集会で、真の人権尊重社会は私たちが築きあげていくという強い決意を共有できればと強く願って

いる」とあいさつを受けた。記念講演は、北原モコツトウナシ北海道大学教授から「多文化共生社会に向けて」と題し、マジョリティには気づきにくいマイノリティの思いをアイヌの視点から提起され、「対話」を通して、多様性を認め合う本當の共生社会を作るための一助となった。

午後は分科会・学習会にわかれ、「部落問題」の分科会では、未だに続く自治体への差別問い合わせの実態が報告された。こうした現状を変えていくためにも、自治体や職員がきちんと向き合っていくことの大切さを学びあった。



あいさつを行う則定所長

安心して働ける社会をめざして

財政見直し・組織拡大・平等推進を柱に

連合兵庫は10月29日、神戸市内で定期大会を開き、第19期の総括とともに第20期の運動方針や2026年度予算案などを審議した。今大会では、財政基盤の見直し、組織拡大、ジェンダー平等の推進、政治活動の再構築など、今後の重点課題が提起された。

冒頭のあいさつで那須会長は、来年1月から中央会費制度に移行することで約700万円の減収が見込まれると説明し「財政の安定化と人材確保の両立をはかる」と強調。職員採用や定年延長、人材育成プログラムの策定に取り組み考えを示した。また、組織拡大と

ジェンダー平等を最重点課題に掲げ「労働組合のある職場となない職場で賃上げに差があり、重大災害の多くは組合のない現場で起きている」と指摘。女性が活躍できる環境づくりに向けて「女性目線の運動を進める」と述べた。政治分野では「立憲民主党と国民民主党の溝

が深まったのは残念。働く者・生活者の立場に立った政策実現のため、信頼関係を再構築したい」と訴えた。報告・議案提案後の質疑では、参加代議員から労使紛争の現状報告や平和運動の強化を求める発言があり、執行部は「安心できる社会は平和があつてこそ。方針に掲げた取り組みをしつかり実行していく」と応じた。

採決では、すべての議案が満場一致で承認され、新たな2年間に向けて一致団結して取り組む方針を確認した。



拳を上げ結束を示す参加者

10月・11月の自治体選挙結果
推薦候補全員が当選

10・11月に行われた兵庫県内の各自治体選挙において、県本部は当該単組とともに取り組みを進めた結果、推薦候補者全員が当選を果たした。

【組織内推薦候補】
神河町長選挙 山名宗悟 無投票当選
新温泉町議会議員選挙 中村茂550票
定数14/11位当選
【原本部推薦候補】
神戸市長選挙 久元喜造27万5273票
定数1/1位当選
豊岡市議会議員選挙 義本みどり2658票
定数22/1位当選

くみん共済 NEWS
5125A025

自治体職員の
交通事故に
大きな力を発揮する

じちろうマイカー共済
自動車総合補償共済

まさか自分が、
事故を
起こすなんて…

交通事故による、まさかの失職に備えを!

公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であっても過失の罪を問われて職を失うのです。この場合、懲戒免職と同様に、退職金は支払われない場合がほとんどです。

このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります!

くみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

ご不明な点があれば、
まずは所属の組合にご連絡ください。

全労済自治労共済本部資料より引用